

長野県 木曾青峰高等学校 インテリア科 卒業生は今！

高校時代何かに打ち込んだ情熱は

社会に出て必ず生きてくる！

小坂 さん



～プロフィール～

- ・ 2020(令和2)年度卒業
- ・ インテリア科 プロダクトコース
- ・ 陸上部
- ・ 長野県上松技術専門校卒
- ・ 株式会社木曾谷 Kousaku.

高校時代は・・・

私の高校生活は、部活動に没頭した毎日でした。その中でも特に印象深いのは、三年生での県大会への出場でした。短距離走400m、400m×4リレーの種目では、日々仲間と切磋琢磨し合う練習ができたこと、友情を深められたことは、私の高校生活の中の貴重な財産だと感じています。

部活動と共に印象深いのはインテリア科でのものづくりです。中学生時は技術家庭科が得意で、ものづくりは大好きでした。高校での卒業制作では食器棚を制作しました。苦労した点は、2段重ねの食器棚ということもあり、大きさや重さに手を焼きました。自分で扱えない時は友人に協力してもらい何とか完成することができました。もう一つは部材のデザインです。材料色の異なる板材を貼り合わせることで着色剤に頼らない部材デザインでバックボードを作り、作品全体にアクセントをつけました。とても地道な作業で記憶に残っています。

資格取得では初級CAD検定、フォークリフトに関する資格を取得しました。フォークリフトの資格は現在の会社で特に役立っています。CADについても加工機械がNC加工機なので作図などの初歩的な考え方はクリアできると思います。

進路選択は・・・

○高校 ↓ 上松技術専門校

私が進路について考え始めたのは、高校三年生の二期でした。部活動が一段落し、自分の将来について考える時間が増えました。元来ものづくりが好きな私は、家具製作分野に照準を定め、企業見学を進めました。見学では企業の技術の高さに感心すると共に、この分野で自分の知識技術を更に向上させたいという学習意欲も膨らみました。そこで、木曾地域にある上松技術専門校の存在に目を向け、同校に設置されている木工科、木材造形科の学習内容の研究を進めました。私は時代の需要に対応できる木工科を選択し進学しました。

全国募集に応募される皆さんへ

私の経験からのPRとなります。ものづくりのエンジニアを目指すことを考えた場合、高校時代木曾青峰高校インテリア科でプロダクトデザイン技術、木材加工技術、木材加工機械操作技術の基礎を学んで1ランクアップ、上松技術専門校(所在は隣接町)でプロの技術を習得して2ランク技術をレベルアップできる太い学習のパイプがある地域だと思います。環境は自然が豊かでとてもよいです。

長野県木曾青峰高校インテリア科で学んでみてはいかがでしょう。

未来の自分が見えてきますよ！